

住みよい安全な まちづくりをめざして

第30回防犯と交通安全の住民集会

2月17日、町防犯協会と町交通安全協会の主催による「第30回南富良野町防犯と交通安全の住民集会」がみなくるで開催されました。

この集会は、昭和52年から犯罪や事件、交通事故のない明るい地域をつくるため、自主的な住民運動の一環として毎年開催され、今年で30回目を迎えました。

集会では、町内小中学校の児童生徒から募集した防犯と交通安全の優秀作品に選ばれた児童生徒に対する表彰と、2人の児童による作文の発表が行われました。
最後に大会宣言が提言され、



「空き巣を防ぐために」と題した作文を発表する大橋くん



「みんなで守る交通ルール」と題した作文を発表する獅畑さん

町民一丸となって更なる運動に取り組んでいくことが確認されました。

なお、町内小中学生からの応募作品は、防犯の部に標語114点、ポスター41点、作文19点、また交通安全の部に標語65点、ポスター33点、作文24点、合わせて296点の作品が寄せられました。審査の結果、各部門の優秀賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

□ 防犯作品受賞者

標語
辻野 真由きみ金山小3年
直原 悠介くみ南富中2年
ポスター
獅畑はるかかき落合小6年



みなくるのロビーには、入選作品が展示されました

山上 琴江きみ金山小6年
加藤 湊きみ南富中1年
作文
大橋 洋太くみ下金山小6年

□ 交通安全作品受賞者

標語
松原 峻馬くみ金山小4年
若林 輝世きみ南富中3年
ポスター
辰見 悠河くみ金山小5年
作文
獅畑はるかかき落合小6年

平成18年度文化講演会

コメディアンとして活躍中のせんだみつおさんを講師として招いて、文化講演会が行われました。

「現代を楽しく生きるためのコミュニケーション」と題した講演では、舞台上に登場後その場で蝶ネクタイをつけて会場内の笑いを誘い、これまでこなしてきた講演や司会などのエピソードや芸能界の逸話を話され、軽快なトークに会場内には終始笑いがおきて楽しい講演会となりました。

住民集会に引き続きの開催ということもあり、自らの交通事故の加害者としての体験から、罪の意識はなくても罪をおかしてしまふことがある。」と話され、事の重大さに気づき、周りの人へ迷惑はかけたくないとの思いから、自動車免許の再取得はしな

かった。」など、笑いの中にもどう生きるのかを問いかけていました。

また、現在社会問題となっているいじめ問題にも触れ、各家庭における会話が不足していることや、日本人はテレビの影響を受けやすいので、もしゴールデンタイムにテレビ放送が1時間でも放送されなければ、家族の会話が増えて自殺が減少するのではないか。など、家庭内のコミュニケーションの大切さについても熱く語っていました。

